

2007 年度
STEP（教員技能向上プログラム）研修報告書

1. 背景

JVC は 2003 年よりアフガニスタン東部ナンガルハル県シェワ郡で女子教育支援を実施してきました。アフガニスタンでは、20 年以上続いた内戦で学校が壊されたり 1996 年から 5 年間続いたタリバーン政権時代には、女子生徒たちが教育を受けられなかったりしたため、教育を復興させることが国の大きな課題とされていました。シェワ郡シギ村でも、女子生徒が学校に戻ってきたのですが 3 分の 2 以上の生徒が屋外で授業を受けざるをえないほど教室が不足しており、JVC はその厳しい状況を改善するため新たに教室の増設とひじ掛けに机のついた椅子の支援を行いました。

その後、施設の改善だけでなく教育の質そのものの改善が必要であることを学校の責任者から訴えられ、その方法として教員の指導技能向上のための研修を実施することになりました。当時、日本の JICA が新教科書配布にあわせ新教科書指導書配布と指導方法を伝えるためのワークショップを都市部で開催していたので、その手法を使ってシェワ郡でも研修の実施を試みました。期間は、2007 年 1 月 21 日から 2 月 1 日の 11 日間です。その後フォローアップ調査を行った結果、参加教員の半数近くが研修で学んだことを活用し生徒が生き生きと授業を受けていること、同じ研修を引き続き行ってほしいという現場の声が多いことがわかりました。しかし半数以上が活用できていない要因が、校長や教頭などの研修成果への無関心ということもわかり、次の研修への課題となりました。

現場のニーズに応えるかたちで 2008 年度の研修継続実施を決め、2007 年 12 月 30 日から 2008 年 1 月 3 日にかけて今回もシェワ郡の教育現場事前調査を行いました。その結果わかったことは、シェワ郡全体の小中高等学校 27 校のうち教員の数が男性教員 433 名に対し女性教員が 30 名で、そのうち研修の対象者（小学校第 1 学年から第 3 学年の担当者）となる女性教員は 2 名しかいないという現実です。そのため昨年のように女性の高学年担当教員からも研修生を募り、最終的に昨年同様 62 名の男性教員と 10 名の女性教員合計 72 名の研修生を迎えることができました。また、今回の調査でわかったことは、新年度（2007 年 9 月から開始）に 120 名の新たな教職員が採用されたこと、2 つの学校が新設されたこと、また 27 校のうち 4 校で新校舎が完成、6 校が建設中そして 2 校で増設が行われたということです。最後に特筆事項として、サラム村のサイド・アフメッド・ババ小学校の話を記したいと思います。この村には最近まで子どもたちが通える小学校がありませんでした。その状況を憂えたウルファット氏

という個人篤志家やコミュニティの人々が話し合い、6 教室しかない校舎ですが自分たちでお金を出し合って 2007 年に新しい学校を開設しました。全校生徒は 188 名（女子 74 名、男子 114 名）、160 名の 1 年生と 28 名の 2 年生が学んでいます。いかにシェワ郡の人々が教育を望んでいるか、その意欲がこの話から伝わってくるようです。

2. 目標

教科書指導書を使用し、小学校 1-3 学年の教員の指導能力を向上させる。

3. 達成目標

研修参加者が、

- 1) 新教科書の指導書（小学校 2 年生教科書向け）を適切に使用できるようになり、
- 2) その日その日に設定した目標が、計画にそって授業を運営することで達成できるようになること。

4. 研修のスケジュールおよび内容

期間：2008 年 1 月 21 日～2 月 3 日

12 日間の研修。通常研修は 11 日間で行いますが、それ以外に教員として必要な筆記能力の基礎を学ぶための研修を 1 日かけて行いました。通常の研修では昨年同様に朝 8 時半から午後 1 時まで 4 つのセッションをワークショップ形式で行い、各セッションでトレーナーからの説明、グループ・ディスカッションと発表、意見交換の順で行いました。11 日間に扱うテーマはイスラム教、国語（パシュトゥ語またはダリ語）、算数、ライフ・スキルの 4 教科で、事例に基づく意見交換と各授業の重要ポイントを共有しました。そのほか、学級運営方法や授業計画書の作成について、丁寧に確認を行いました。

5. 研修参加者

研修参加者はシェワ郡にある学校 27 校から派遣されました。詳細は以下のとおりです。

<u>男性教員</u>	<u>女性教員</u>	<u>学校の種類</u>
20 名	0 名	小学校（11 校）
18 名	4 名	中学校附属小学校（8 校）
22 名	6 名	高等学校附属小学校（6 校）
2 名	0 名	マドラサ（宗教学校）

6. トレーナー

ナンガルハル県教育局より、JICA と協力し養成した STEP トレーナーを 8 名(男性 5 名女性 3 名)推薦してもらいその中から 6 名(男性 4 名女性 2 名)を選考しました。

7. 事前調査および準備

研修前の調査を、2007 年 12 月 30 日(日)から 2008 年 1 月 3 日(木)の 5 日間、JVC のスタッフとナンガルハル県教育局およびシェワ郡教育局の職員と協力して実施しました(添付資料:事前調査結果参照)。前回同様に郡の教育局職員が調査に同行したため、学校側の調査受け入れおよび協力に支障をきたすことはありませんでした。

また、事前にトレーナーとの打ち合わせのためのミーティングを行いました。話し合った点は、

1. 前回研修受講者の成績結果の振り返り
2. 教科書指導書の配布状況について
3. どのように参加者全員を“グループ・ワーク”に参加させるか(グループ・ディスカッションに慣れていない教員もいるため)
4. 研修の開始時間
5. トレーナーの配置
6. 筆記能力研修の進め方について

8. 研修のようす

- 1) 研修前調査:調査の目的では、実際に教室で教師がどのように指導をしているかを観察することと、学校の概要に関する情報を収集することです。調査を事前に行うことで、研修中に研修生と実際の状況を踏まえたディスカッションを進めることができます。
- 2) 事前準備:トレーナーと事前に話し合い、前年度の研修で学んだことを生かすことを確認しました。ひとつは、高圧的に研修をリードするのではなく、研修生の学ぶ意欲を引き出すためになるべく親しく話しかけるようにしようというものでした。また、この研修でどれだけ研修生が能力を向上できたか知るために、事前と事後のテストをしようということです。実際、事前のテストではあまりいい結果は得られませんでした、事後テストではとても良い結果がでており実施者側も満足できるものでした。
- 3) 出席状況:72 名の研修生のうち、4 名が家族の問題などで出席することができませんでした。
- 4) 修了状況:2008 年 2 月 3 日に修了式を行い、修了証を 70%以上出席し

た 67 名に授与しました。

9. 評価

前述した通り、研修生に対し事前および事後テストを実施し研修の評価を行いました。その結果、すべての研修生が研修の内容を理解できたことを確認できました。また、何割かの研修生の読み書き能力が非常に低い現実も知る結果になりました。

10. フォローアップ計画

11. 研修修了一ヵ月後に、参加者の学校数校を訪問し授業を参観して評価をする予定です。評価は、授業計画書を作成しているかどうか、その内容の確認と実践方法の変化をポイントとして行います。

12. 研修実施概要

実施団体 : 日本国際ボランティアセンター (JVC) アフガニスタン事務所
支援機関 : 全国退職女性教職員の会、WE21 ジャパン、
花王ハートポケット倶楽部

現地協力団体 : ナンガルハル県教育局、ナンガルハル県シェワ郡教育局

協力機関 : JICA (国際協力機構) STEP カブール事務所

研修方法 : ワークショップ形式

対象者 : ナンガルハル県シェワ郡小学校低学年担当教員 (一部高学年担当女性教員も含む) 72 名 (男性教員 62 名、女性教員 10 名)

教材・教具 :

- 1- 小学校 2 学年向け「宗教—イスラム教」教科書指導書 23 冊
- 2- 小学校 2 学年向け「国語—パシュト語」教科書指導書 23 冊
- 3- 小学校 2 学年向け「生活科—ライフ・スキル」教科書指導書 23 冊
- 4- 小学校 2 学年向け「算数」教科書指導書 23 冊
- 5- グループ・ワーク用 ; 模造紙、マジック、線引き用定規
各研修生用 ; ノート、ボールペン

研修会場 : ナンガルハル県シェワ郡タワカル・ババ小学校 (女子部)

研修期間 : 2008 年 1 月 21 日 (月) ~ 2 月 3 日 (日) 金曜日が休日

トレーナー構成 :

- グループ 1 (男性教員) に 2 名の男性トレーナー
- グループ 2 (男性教員) に 2 名の男性トレーナー
- グループ 3 (女性教員) に 2 名の女性トレーナー

補足資料 (英文のみ)

- 1: 研修日程

2: 事前・事後テスト結果

3: 事前調査結果

4: 参加者リスト

報告者 : ハミドゥラ・マルーフ、JVC アフガニスタン教育支援担当

報告書翻訳 : 谷山由子、JVC アフガニスタン事業担当補佐